



わたしのふるさと

— 高岡市金屋町 —



発祥の地を記念する石碑



金屋の町並み

六月は、まちづくり月間です。そこで自分達の町は自分達で守り育てていこうと、町内ぐるみで町並み保存に立ち上がった高岡市金屋町を訪ねてみました。県道高岡氷見線が千保川を渡る鳳鳴橋のもとに、金屋町はあります。鳳鳴橋には、この四

月に高岡銅器のシンボルとして金色に輝く鳳凰がとりつけられました。金屋町は、全国に誇る高岡銅器発祥の地なのです。今でも町内には、銅器造りの職人さん達が住んでいます。近くには銅物史料館があつて、金屋町の歴史を伝えていきます。

交通の激しい県道から一歩金屋町の通りに足を踏み入れますと、あたりは江戸時代の町人の町かと思うほど、静かで落ち着いたたたずまいを見せてくれます。この町並み保存は、今始ま

ったばかりです。美しい町並みを生かすために、建物の保存や修復のほか、通りの電柱の移設や緑地の設置が計画されています。

高岡市の中心部には、ところどころに古い建物や町並みが生活の場として今も残っています。あなたも一度、ゆっくりと高岡の町を散策してみませんか。

このコーナーでは、読者のみなさんのふるさとを紹介した写真と原稿をおまわちしています。ふるってご応募ください。

●送付先 千930富山市新総曲輪一番七号 県広報課「あなたのふるさとわたしのふるさと」係



文化性をとり入れた鳳鳴橋



つばめの目



▲つばめの調査をする富山市立新保小学校の6年生

今年も愛鳥週間の初日の五月十日、県下一斉にツバメの生息調査が行われました。これは富山県が毎年五月に、県内の小学生の協力を得て実施しているものです。この日、県内でも二百五十六校、約一万五千名の六年生が、自分たちの地域について、調査をしました。

ツバメは冬を暖かい南の国ですごし、春になると中緯度の日本などに飛来して産卵し、ヒナを育てる渡り鳥です。他の野鳥と異って、好んで人家の軒下などに巣を作ります。

ところが最近、住宅構造の変化や農薬の影響などで、ツバメの生活環境が悪くなり、飛来する数も年々減少しています。

ツバメは、カヤハエ、田の害虫を餌とし、また熱心に子育てをする愛らしい姿から、昔から私たちに親しまれてきた鳥です。今年春の訪れが遅く、ツバメの巣作りも二週間ぐらい遅れたようです。いつまでもツバメの帰るふるさとでありたいものです。

6月号・もくじ

クロズアップ	
つばめの目	1
ジミー・カーター氏 富山を訪問	2・3
大空を拓く	4・5
永遠の友好と平和にむけて	6~9
県民のスポーツの殿堂	10・11
TOYAMA JUST NOW	
フラワースタイル城端線	12・13

親子で話し合っていますか	14~17
みんなで防ごう土砂災害	18・19
くらしの情報コーナー	20・21
トピックス	22・23
お知らせ	24
特産王国	
庄川の幸を丸ごと うるか	表3



遼寧省友好代表団 歓迎風景



ジミー・カーター氏 富山を訪問

— 富山国際化時代・最初のVIP —

要人



富山県が世界に誇る大企業、YKK吉田工業が創立五十周年を迎えて、五月二十三日、国内から一千名、海外から二百名を招いて盛大に祝賀式を行いました。

この式典で一段と人目を引いたのが、前アメリカ合衆国大統領ジミー・カーター氏とロザリン夫人、そしてカーター氏が目の中に入れても痛くない愛娘エミー嬢の姿でした。

カーター氏とYKKの結びつきは、YKKがジョージア州に工場進出を決めたことに始まります。アメリカでの大規模主力工場の建設計画に際して、最も熱心に誘致を行ったのが、当時のジョージア州知事ジミー・カーター氏でした。

さて、新世紀に向って大きく世界に飛躍しようと国際交流に力を入れる富山県では、この機

を逃さず日米交流の場を作って大いに親善を深めました。写真は、知事主催の夕食会でのコマです。

カーター氏は、何でも見て、何にでも挑戦しよう」という大変好奇心の強いお人です。日本料理の数々や抹茶を興味深く、かつ「ワンダフル」を連発しながら、その健啖ぶりをみせていました。

そしてカーター氏が特に強い興味を示したのは、会場になったくれは山荘の古い民家の造りでした。また、素焼の大皿にサインしたり、富山の民謡を鑑賞しながら、知事や関係者からのいろいろな話にも熱心に耳を傾けていました。

「一度ゆっくり日本料理を味わってみたい」「畳の上で寝てみたい」「趣味の木彫りの道具を買いたい」など、来県前から抱いていた望みを果たして、次の訪問地広島へ出発しました。五月二十一日から四日間、カーター一家の富山の印象は、どうだったでしょうか。



大空を拓く

富山空港モニュメント完成

ジェット機の発着する富山の空の玄関口
富山空港にふさわしいシンボルとして、光
輝くモニュメントが設置されました。

テーマは「大空を拓く」。はばたく富山県
をイメージしています。

作者は、国際的彫刻家向井良吉氏。富山
県の彫刻家岩城信人さんと谷口義人さんが
協力して完成しました。

モニュメントは、金と銀一対の直方体か
らなり、万物の存在の根本を意味し、宇宙時
代の到来と人類の大空への飛躍を象徴して
います。またこの直方体は一時間に一回転
していますが、周囲の風景を映して四季を
通じて変化極まりない効果を生みだします。
高さ六・五メートル、幅六・六メートル、厚さ一・八
五メートルという大きなもので、富山県の産業と
関連深い銅とアルミニウムを素材としてい
ます。

五月三十日の午前十一時から行われた除
幕式には、中沖知事ら関係者約七十名が出
席。地元の新保小学校の児童九名が除幕し
て、完成を祝いました。



富山県・遼寧省友好県省締結調印式

永遠の友好と平和にむけて

富山県・遼寧省友好県省締結

昭和五十九年五月九日、中華人民共和国遼寧省と富山県との間で友好県省が締結されました。

午後二時から、県民会館八階ホールで行われた調印式には、

遼寧省友好代表団八名をはじめ、約六十名が列席、厳肅な雰囲気の中、中沖県知事と全樹仁省長が署名し、協定書を交換しました。



■遼寧省とは
遼寧省は中国東北部にあって、面積は百四十五・七千平方キロ、人口は三千九百万人、ともに富山県の三十倍以上の規模の大きな省です。富山県より北方の北緯三十八度から四十三度にあつて、日本海をはさんで本県と対峙しています。省都は瀋陽、その他に大連、鞍山、撫順など我が国にもよく知られた大都市があります。

■富山県との結びつき

遼寧省を含む中国東北部は、昔から私たちの住む北陸地方と深い結びつきがあります。古代から頻繁な交流がもたれ、北陸の文化や政治、経済に少なからぬ影響を与えてきました。例えば弘仁元年（西暦八百十年）五月、当時の渤海国使を越中国に招来して、国衙の史生や習語生に渤海語を学ばせたという記述

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省との友好県省締結協定書

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省は、多年にわたる友好交流の基礎の上に、日中共同声明と日中平和友好条約の原則に基づき、両県省の相互理解と友誼を増進し、繁栄と発展を促進するため、協議の結果、正式に友好県省の締結を決定した。

双方は、経済、貿易、科学技術、文化、体育など各分野の広範な交流を通じて、絶えず両県省の間の友好協力関係を強めることを取り決めた。

双方は、これらの交流活動を通じて、日中両国民の子々孫々にわたる永遠の友好と平和に貢献することを誓うものである。

この協定書は、知事と省長が署名した日から効力を生ずる。

日本文と中国文は、共に同等の効力を有する。

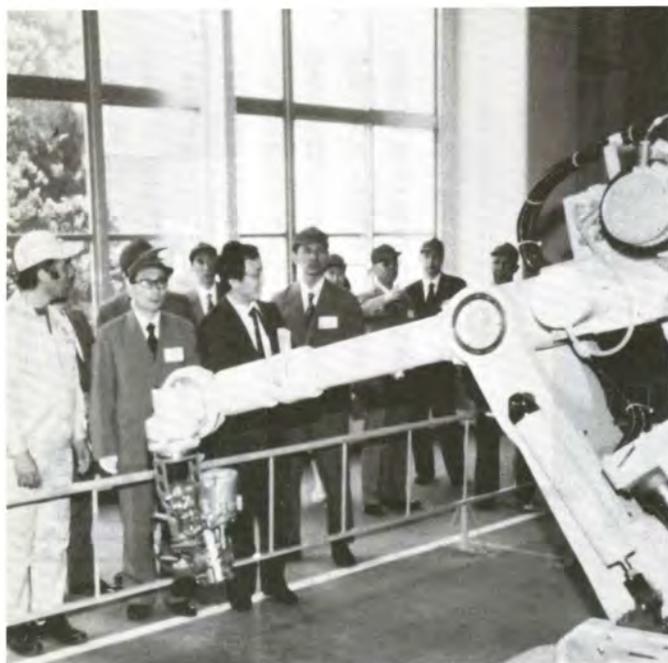
1984年5月9日

日本国富山県知事 中華人民共和国遼寧省省長

いつれかは、私たちは永遠の友好関係

昭和59年 富山県と遼寧省との交流事業計画

事 項	内 容	時 期
「馬鹿」の受贈	調印記念として瀋陽動物園より「馬鹿」2頭を受贈	7月
工業技術研修員の受入れ	研修員2名(プラスチック、製業技術) 県工業試験場、県業事研究所で受入れ	昭和60年 7月～3月 (9か月間)
農業研修員の受入れ	研修員4名(水稲、野菜、畜産) ホームステイ方式 指導員2名(果樹、畜産) 県農業試験場 等	7～9月 (3か月間) 8～9月 (1.5か月間)
漁業視察団の受入れ	栽培漁業、水産加工技術関係の視察	5名 6月
小中学校交換作品展	本県児童・生徒の絵画・書200点を遼寧省へ送付遼寧省少年宮(瀋陽市)にて調印式と同時に開催	5月9日～17日
スポーツ交流	遼寧省スポーツ代表団(35名)の来県 男子高校サッカー(岩瀬) 女子高校バレーボール(福光)	8月
議 会 交 流	遼寧省人民代表大会常務委員会主任ら8名の来県	10月
富山県答礼訪省団の派遣	遼寧省調印代表団の来県(5月)に対する答礼として、省からの招聘に応じ訪省団を派遣	未定



▲ロボット工場も熱心に視察



▲遼寧省からマローが贈られます

▲富山大学と遼寧大学は友好大学

▶遼寧歌舞団の公演



▼氷見の栽培漁業センターを視察



▼遼寧省の位置



なほ、今年予定されている友好交流事業は、上の表のとおりです。

友好代表団の一行は、十一日朝、全ての予定を無事終了し、晴天の富山空港から多くの新しい友人に見送られて、離県しました。

遼寧歌舞団は、富山、砺波二会場で公演し、伝統音楽の数々を披露し、巧みな演奏で満員の聴衆を魅了しました。また同時に歌で友情を深めようと製作された友好合作歌「友情の花」心に咲く歌」が発表され、会場で歌唱指導も行われました。

富山大学と友好学術交流を締結し、今後の学術研究、教育の場での積極的交流を約束しました。

経済貿易代表団は県経済界との交流を深めたほか、先進企業を訪問、富山県経済の現状をつぶさに視察しました。

富山県と遼寧省との直接交流は、今から五年前の「中日友好の船」がきっかけになりました。友好の船の富山県内視察団の一行の中に遼寧省の代表十九名も含まれていました。そして同じ年県青年の船三百八名が中国に派遣された際、瀋陽市を訪れて一層、親善を深めてきました。以来、積極的な友好関係が進み、この五月九日の友好県省締結の日を迎えたわけです。

深まる友好親善関係

代表団の一行は、締結の日の前日、富山空港に到着、日中友好の父、故松村謙三氏の故郷福光町をはじめ県内各地を視察し、随所で県民の温かい歓迎をうけました。

今回の友好県省締結にあわせて、遼寧省から他に、経済貿易代表団(二行六名)、遼寧大学友

好学術交流締結団(二行三名)、遼寧歌舞団(二行三十名)が訪れました。

富山県と遼寧省との直接交流は、今から五年前の「中日友好の船」がきっかけになりました。友好の船の富山県内視察団の一行の中に遼寧省の代表十九名も含まれていました。そして同じ年県青年の船三百八名が中国に派遣された際、瀋陽市を訪れて一層、親善を深めてきました。以来、積極的な友好関係が進み、この五月九日の友好県省締結の日を迎えたわけです。



◀人気のチームライフル

▼情報相談コーナーは気軽に利用できます。



▲大アリーナ棟は国際級の施設

待望の富山県総合体育センターが、いよいよオープン、空の玄関口富山空港に隣接して、その偉容を誇っています。
置県百年記念事業の一環として建設が進められていたもので、国際的な競技会も開催できる、健康とスポーツ日本一に挑戦する県のスポーツ振興と普及の拠点となるにふさわしい施設です。



▶小体育館の体力測定器

県民のスポーツの殿堂

県総合体育センターオープン

▼施設のあらまし

バスケットボール、バレーボール、テニス、体操など、あらゆる室内競技のできる大アリーナ棟は、国際級の最新設備を備えています。三千名を収容できる観覧席の周囲には、一周二百メートルのランニング・コースもあって自動的にタイムも計れます。
小体育館には、気軽に健康づくりをしていただくため、卓球台や体力測定機器が設置してあります。

▼今後の整備計画

今回オープンするのは、第一

またスポーツラウンジには、スポーツに関する相談や情報提供の場として、情報相談コーナーや展示コーナーなどがあります。
その他に新しいスポーツとして最近注目を浴びているチームライフル射撃場もあって、県民の人気の的となることでしょう。

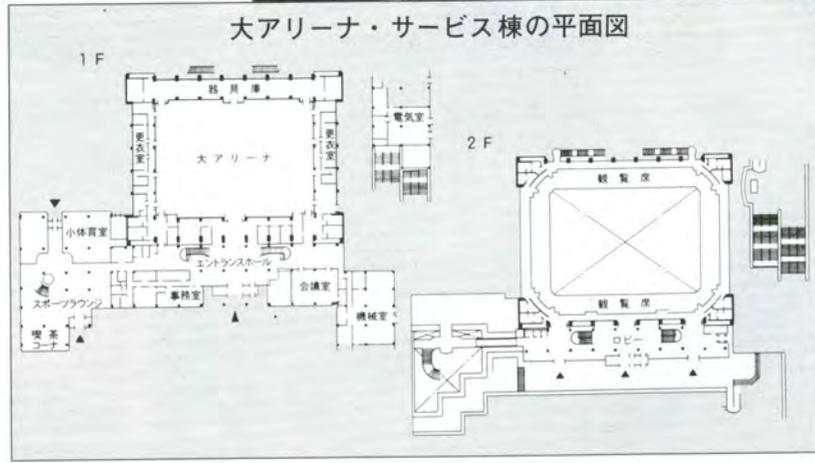
期工事分の大アリーナ棟とサービス棟ですが、将来は五十メートル温水プール棟、中アリーナ棟研修棟、屋外トレーニング施設などの建設が計画されています。完成の暁には、文字通り、機能規模ともに日本海側随一のスポーツの殿堂となります。

利用のご案内

六月六日から一般供用を開始



大アリーナ・サービス棟の平面図



いたします。
・利用時間 九時～二十一時
・休館日 毎週火曜日と国民の祝日の翌日、年末年始
・利用料金(個人の場合) 一般(二時間)二百円
児童及び生徒(二時間) 百円
(専用する場合は、時間帯及び目的によって使用料が異なります。)
館いただき、明日への活力を生み出す健康とふれあいの場として、大いにご利用ください。

◆申込み、問い合わせ先
富山県総合体育センター事務局
〒九三〇一〇一 富山市秋ヶ島一八三番地(☎〇七六四(二九五四五五))
県民のみなさんに気軽にご来

TOYAMA JUST NOW

フラワーライン 城端線



●城端線へのご案内



みなさんも、一度フラワーラインに乗って初夏の一日をのんびりとすごしてみませんか。

いれています。

最近では、県や沿線市町も協力して花の園オランダに負けな

い花の類づくりをしようと力を

に花壇を作り、花木を植えるこ

とになりました。特に主要駅に

は中心に花壇を設けて、駅

花壇でもいろいろな種類の花

高岡はアジサイ、二塚ヒヨウタ

ン、戸出カンナ、砺波チューリ

ップ、福野並木ツツジ、福光は

シヤクナゲなど旅の心をなぐさ

める工夫をしています。

この線区を常に花のあふれる楽

としようとしようとフラワー

ライン常花線と名付けて、各駅

高岡駅一番乗りが子、北陸地

カーに乗ることを

二塚、戸出、福野、福光、

東野尻、砺波、福光、福光、

福光、福光、福光、福光、

時間、福光、福光、福光、

ののんびりとした雰囲気があ

す。城端線は、福光、福光、

のある鉄道です。福光、福光、

中越鉄道として福光、福光、

波地方の産業振興に貢献して

て貢献して福光、福光、福光、

チューリン、福光、福光、福光、

五箇山、福光、福光、福光、

川崎、福光、福光、福光、福光、

た福光、福光、福光、福光、

さる福光、福光、福光、福光、

この城端線は、福光、福光、

みは、福光、福光、福光、福光、

と各駅のホームを彩る車花では

ないで福光、福光、福光、福光、

今から10年前の春、国鉄では

この線区を常に花のあふれる楽

としようとしようとフラワー

ライン常花線と名付けて、各駅

高岡駅一番乗りが子、北陸地

カーに乗ることを

二塚、戸出、福野、福光、

東野尻、砺波、福光、福光、

時間、福光、福光、福光、

ののんびりとした雰囲気があ

す。城端線は、福光、福光、

のある鉄道です。福光、福光、

中越鉄道として福光、福光、

波地方の産業振興に貢献して

て貢献して福光、福光、福光、

親子で話し合っていますか

～家庭教育に関する実態調査から～



子供たち、未来は君たちのものだ

家庭は、子供の人間性を形成する大切な場です。今日、私たちにとって家庭教育の重要性を正しく認識し、確立した考えを持つことが大変必要になってきているのではないのでしょうか。このたび県では、家庭教育に関する父母の意識を中心とした実態調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

調査の方法

この調査は、昨年十二月の初旬に実施したものです。県内の小学校低学年の父母約千二百七十名を対象にしました。回収率は、九九・三％と非常に高く、家庭教育に対する親の関心の高さを示しています。

「あまり自信がない」「全く自信がない」の四五・七％をわずかに上まわっています。また自信のある人は、「家庭中心のしつけ」を回答した親に多く、「学校と家庭との両方」を回答した親に自信のない人が多くなっています。

三〇・九％、「子供が言うことを聞かない」二六・八％などが目立っています。(図2)

「養育やしつけの不安や悩みは？」

「性格」四〇％、「健康・体力」三一・九％、「家庭学習」

調査結果のあらまし

(一) 悩む親の姿ありあり
— 養育としつけに関する意識 —

基本的な生活習慣のしつけは、家庭で、あるいは学校で？

しつけに自信がありませんか。

「自信がある」と「やや自信がある」とを合せて五〇・八％で

「あまり自信がない」「全く自信がない」の四五・七％をわずかに上まわっています。また自信のある人は、「家庭中心のしつけ」を回答した親に多く、「学校と家庭との両方」を回答した親に自信のない人が多くなっています。

しつけでふだん特に気をつけていることは？

「基本的な生活習慣」が八二・四％で最も多く、次いで「自主性」七二・六％、「感謝」六三・四％、「責任感」六〇・九％となっています。なお「勤労意欲」や「創意工夫」、「宗教的情操」は、回答率が低くなっています。

しつけの上で困ったことは？

「時間のゆとりがない」四〇・一％、「意見や方針が不一致」

図1

しつけに対する家庭と学校の役割意識 — 全体・親の性別・職業別 —

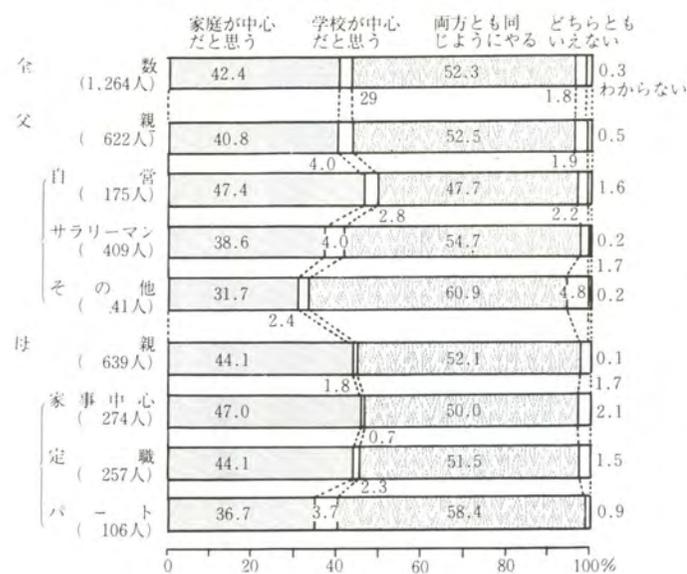
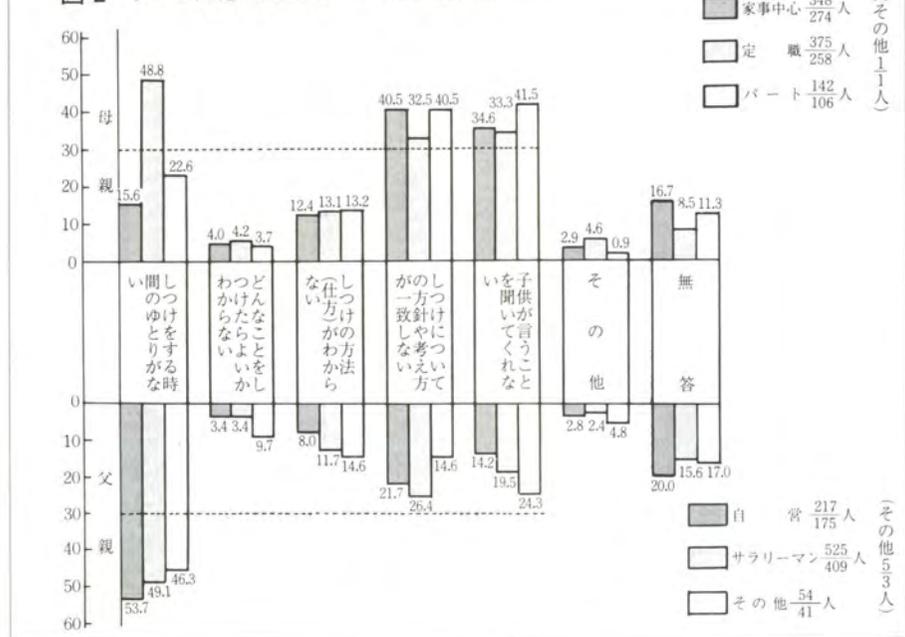


図2 しつけ実施の困難点 — 親の職業別 —



二八・六位の順となっていて、低学年の子供を持つ親の特色がでているようです。

なお「非行・問題行動」についても、二二位の不安が示されています。

(二) 母親中心の家庭教育

— しつけについての

家庭内の意識 —

しつけの担当者は誰？

「母親」「どちらか」というと母親を合せて六二・七位にもなり、父親はわずかに三・四位にすぎません。

なお定職をもつ母親の場合には、「祖父(母)に依存している」場合が多くなっています。

しつけの意見や方針は一致していますか。

「一致」「だいたい一致」を合せて五四・六位ですが、「少し違う」「大きく違う」が合せて四一・四位にのぼっています。「しつけに自信がある」家庭ほど

家庭内の意見が一致しています。

(三) 意外と少ない対話の機会

— 親子のふれあいの実態 —

親子の対話の時間は、いつ？

「夕食の前後に」に、七三・

九位で、その時間は「三十分以上」が五七・二位になっています。特に母親は「三十分以上」が六五位ですが、父親は「三十分以下」が四九・二位もあって子供とのふれあいの時間が少なくなっています。



家族そろってピクニック

親子で話すのはどんなこと？

「学校のこと」が八四位と最も多く、次いで「友達のこと」六〇・二位、「宿題のこと」五六・九位という順になっています。全体的に対話の内容は、父親は子供の「生活問題」が、母親は父親に比べると「勉強のこと」が多い傾向があります。(図3)

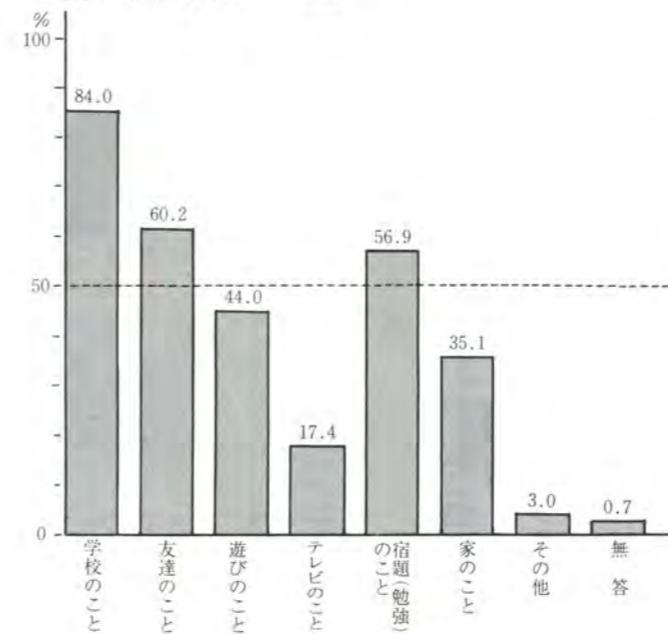
(四) 親も学ぶ姿勢が必要

— 養育に関する学習要求 —

家庭教育について、どんなことが学びたいですか。

「子供の心理(考え方)」が最も多くて五五位、続いて「子供を指導するときの親の態度」四六・一位、「子供のしつけや生活習慣」三九・一位などが多い

図3 対話の内容 — 全体 —



ものです。

なお父親は母親に比べて「子供との対話や信頼」「健康や体力」「友人関係」など子供の日常生活に関する事項が多くなっています。

どのような学習方法がよいですか。

「学年・学級懇談会」五二・五位、「家庭教育学級」三三・八位、「講演会」二八・五位となっています。

また全般的に母親の方が学習ニーズが高くなっています。(図4)

県や市町村で行っている家庭教育の学習機会を知っていますか。

テレビ番組「ママ聞いて、私は三歳」が全体の七三・六位にのぼっています。特に母親は八四・二位の高率を示しています。その他では「婦人学級」三五・五位、「家庭教育学級」三〇・

参加(視聴)したことがありますか。

「ママ聞いて、私は三歳」の視聴が四六・二位、「家庭教育学級」一九・四位、「婦人学級」九・二位になっています。テレビ番組を除く家庭教育に関する学習機会への参加者は、全体で五五位で、母親の参加率が父親のそれを大きく上まっています。

まとめ

まず、家庭教育における父親と母親の役割と意識についてですが、例えば実際のしつけの担当は六割以上が母親で、父親はほとんど担っていないにもかかわらず、「自信がある」のは父親の方で、母親は不安や悩みが多いようです。また母親は父親にもっと協力してもらいたいと思っていますが、父親は「子供と接する時間が少ない」と言っています。

またしつけの基本となるはずの親の生活観や価値観が多様化しているのは流動化してきているため、しつけについてのとまどいがみられます。それ故に、しつけを学校に期待したり、また自ら家庭教育を学習しようという意識が強いです。

次の時代を担う子供をまず守り育くむのは、今も昔も家庭です。あなたは、どのようにお考えになりますか。



健康・体力づくりも家庭教育で

この調査について、詳しいことをお知りになりたい方は、富山県教育委員会社会教育課までお問い合わせください。

〒930 富山市新総曲輪1の7
☎0764 (31) 4111 (代表)

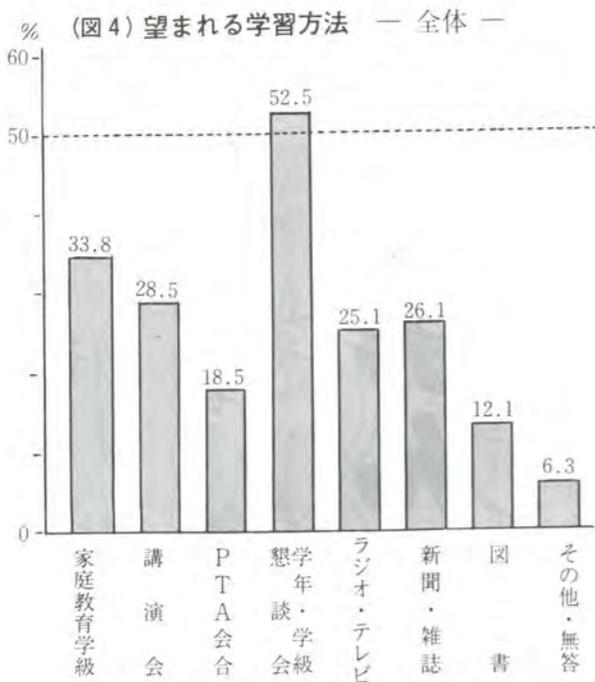


図4 望まれる学習方法 — 全体 —

6月は土砂災害防止月間です。

毎年、災害のために多数の人命が失われています。特に土砂災害は、一瞬のうちに甚大な被害を生じさせる恐ろしい災害です。一昨年の長崎大水害、昨年の山陰豪雨など、大きな土砂災害が近年多発しています。でも、まさか自分の住んでいる土地が崩れてくるとは、誰も考えていないのではないのでしょうか。台風や梅雨時の豪雨などで、ふだん水の少ない沢や谷、一見しっかりとみえる山やがけが突然ゆるんで流れたり崩壊したりします。一瞬のうちに尊い人命や財産を奪い、道路や田畑などを破壊して、私たちの生活を根底から覆してしまいます。

みんなで防ぼう土砂災害

土砂災害とは

土石流、地すべり、がけ崩れなどをいいます。梅雨時などの豪雨や春先の融雪などが引き金になります。

土石流は、水を含んだかゆ状の多量の岩石や土砂が一瞬の間に流下してくるものです。土石流の先端部は小山ほどもある大きな岩石の集合になっていて、後部になるに従って細かい土砂

となつていきます。非常に大きいエネルギーを保有して流下してくるため、極めて強い破壊力を持っています。長崎大水害の死者のうち八割までが、この土石流によるものと考えられています。

地すべりは、斜面の一部が滑落する現象です。粘度などすべりやすい性質をもつ地質（すべり面）といえます。浸透した雨水や融雪水、地震など外部の力が加わって、上層の部分がすべり落ちるものです。昨年七月に小矢部市内山地区で発生した地すべりは大規模なもので、国



▲小矢部市内山の地すべり

道359号線をズタズタにし、五郎丸川をせき止めるなど約一平方キロにわたって被害を及ぼしました。がけ崩れは、融雪、降雨などで切り立った斜面が崩壊して土砂が滑落するものです。地すべりがある程度ゆっくり継続的に移動するのと対照的に、局地的

突発的に発生するため、人命に被害を及ぼすことが多い災害です。

備えあれば 憂いなし

どうしたらこの恐ろしい土砂災害を未然に防ぐことができる

土砂災害防止月間

土砂災害の防止には、みなさん一人ひとりの日頃からの十分な理解と備えが重要です。「土砂災害防止月間」はこの主旨から、国・都道府県・市町村が一体となって昨年実施しているものです。期間は、六月一日から三十日までの一カ月間です。特に一日から七日までの一週間は、「がけ崩れ防災週間」としてがけ崩れ災害防止を重点的に行います。

県ではこの期間中、防災映画の映写会、危険箇所パトロールなどを実施するほか、六月から四カ月間、建設省立山砂防工事事務所と共催して、立山砂防の現地見学を計画しています。みなさんの積極的な参加をお願いします。

がけ崩れが発生する時と場所

がけ崩れは台風や局地的な前線性の集中豪雨によっておこります。急に強い雨が降ったり長い雨のあとに強く降ったりした場合には十分注意が必要です。

がけ面にある樹木により風の力が、がけ地盤に伝わる

がけの安全性を害する原因



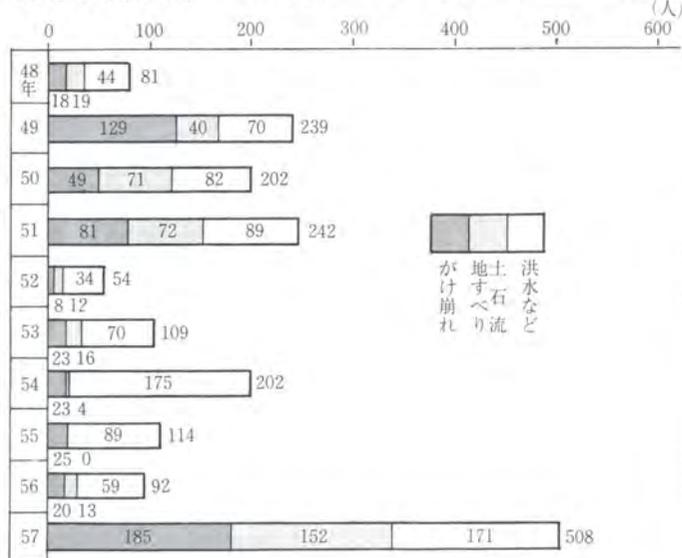
危険ながけ

- ① きれつのあるがけ
- ② 表土の薄いがけ
- ③ はりだしているがけ
- ④ 浮石の多いがけ
- ⑤ 割目の多い基岩からなるがけ
- ⑥ 湧水のあるがけ
- ⑦ 表流水が集中するところ
- ⑧ 30度、5m以上あるがけ

地震、その他の震動によってもがけ地盤のすべり出す力を増大させ、土のせん断抵抗力が減少する

A・土の中に含まれる水分が増すことにより土のせん断抵抗力が減少する
B・地下水位の上昇により水圧が増加する
C・含水量の増大による土の単位体積重量の増大

最近の自然災害による原因別死者および行方不明者数



健康メモ ひとくち

歯の衛生

人間の進化とともに歯は退化しているそうです。人間が熱加工など調理した食物をとる、つまり堅い食物を食べなくなったことと関係がありそうです。だからおとなでも親不知歯のない人が結構いますね。アゴの骨が小さくなって、三十二本全部の歯が生えきれない、そんな風に変化してきています。



子供のときから歯みがき

でも歯は、今でも食物の消化の第一関門として大切な組織です。前歯は切る、ちぎる、奥歯は砕く、すりつぶすなどの役目をします。そして唾液とよく食物を混合して胃に送ってやります。だから歯が悪くなると堅い物が食べられない。胃腸を悪くするなど、人生の楽しみの一つである食事がおいしくないものになってしまします。

人間の平均寿命は、七十五才ぐらいですが、歯の方は生えてから最も長い下アゴの糸切り歯で六十年、一番短かい上アゴの奥歯で四十年ぐらいと、かなり寿命より短かいようです。七十才をすぎると一本も自分の歯が無いというのが普通になっていくようになります。

でも歯は、手入れ次第で寿命を伸ばすことができます。歯の病気で最も多いのは、虫歯、次いで歯槽膿瘍。どちらも「歯を清潔に保つ」ことで予防できます。食事の後の歯みがきやブクブクうがいを行しましょう。また年に一回は歯科医へ行って検診と歯垢除去を受けましょう。

さわやかジョギング

立山町日中地区では、毎朝、おとなも子どももジョギングで健康づくり。日中上野小学校の五年生、松嶋尚子ちゃんもその人です。尚子ちゃんから楽しい「情報」が届きました。

「おはようございます。」
今朝も、きれいな空気を、むねいっばいすいこんで走りながらすれちがう人に、元気よくあいさつをします。

四月から始まった「さわやかジョギング」です。ジョギングを始める前は、起きるのもおそかったし、起きるとすぐ、こたつに入りびたっていたのに、今では毎朝のジョギングが楽しみで、早く起きるのが平気になりました。

でも、初めはいいや走っていた。つらくて、たまたま、休むこともありました。「しめた。今日は、小雨がふっているからやめよう。」

まちからむらから

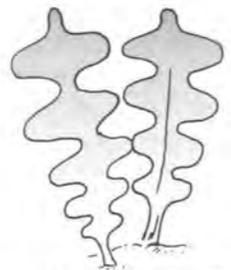
そう思ってたんだ日、学校へ行ってみると、雨の中でもジョギングをしたというお友達がいたので。私はそのがんばりに、おどろいたり、感心したりしました。私もがんばってみようと勇気づけられました。毎朝、弟と二人で家を出ると、走っているたくさんの友達や、おとなりの人たちに出会います。「おはよう。」「おはようございます。」と、今まで知らなかった人にも、あいさつするようになりました。帰ってくると、朝ごはんも、たくさん食べられます。私は、「さわやか」と名づけられた理由がわかってきたように思います。これからも、さわやかジョギングをがんばり、強い体にしていきたいと思えます。



毎日参加が励みです

ワカメ

ワカメはコンブ科の海藻で、日本各地の沿岸部に分布しています。富山では、越中宮崎の灰付ワカメが有名ですね。朝日町の東端宮崎では、五月の中頃から日を決めて「口明けの日」といいます。ワカメを採集します。学校もお休み、子供も大人も、それこそ宮崎の衆総出の忙しい一日になります。



ワカメはいつそう鮮やかな緑と風味を増し、熱を通さなくても柔らかく美味しく宮崎灰付ワカメに変身するわけです。県内では、このほか氷見や魚津などでもワカメが採集されます。ワカメはカルシウムが豊富で、ま

とやま旬の味

またワカメの堅い茎や根付きの部分は刻んで佃煮やしょうゆ漬にする。と、コリコリと歯ごたえがあつておいしい保存食になります。

- （ワカメの佃煮の作り方）
- ①乾燥したものは水でもどして、細く刻む。
 - ②炒りゴマを乾いたまな板の上で切る。
 - ③トウガラシ(鷹の爪)は種を抜いて、小口切りにする。
 - ④①のワカメを油でいため、②のゴマを入れる。
 - ⑤砂糖を入れ、砂糖がとけたらしょうゆを入れて十分煮つめ最後に③のトウガラシを混ぜ合わせる。
- (分量) ワカメ三百g、ゴマ大さじ二、砂糖大さじ二、しょうゆカップ三分の一、油大さじ一、トウガラシ一本)

かさの選び方

傘の世界にもファッション化の波が押し寄せ、消費の多様化と個性化が進展する中で、色、柄とも年々豊富になっていきます。その一方で、いつもパーゲンセールが行われ、安い傘が売られており、どのように選べばよいのか迷ってしまします。

製造コストの半分は生地代。価格の高低は、傘の生地、骨中棒、付属品など、材料の種類によって決まりますが、生地代が、製造コストの半分を占めています。その他、有名デザイナーがデザインしたものなどは、その分が価格に計算されます。

材料の種類と特徴
生地……主流はナイロン
全体の90%近くが合成繊維で、そ



SGマーク
製品安全協会が定めた品質基準に合格したものに付けられる安全マーク

のうちでもナイロンが大部分を占めます。ポリエステルは高級品に使われます。ポリエステルは高級品に使われます。骨(フレーム)……主流は鉄
軽く錆びにくいなどの特性がかわれ、アルミ合金を使ったものもありですが、強度が劣ります。値段の違いは、メッキの種類によって決まります。滑らかさ、光沢がよいことから、高級品にはクロムメッキ、黄銅メッキが使われますが、値段は高くつきます。次いでニッケルメッキ、亜鉛メッキがあります。

購入時のチェックポイント
・ 生地の組成、親骨の長さ、親骨の書面加工等の表示を確認しましょう。
・ 生地たるみ、はり過ぎがなく、縫製がきちんとしているかどうか確かみましょう。
・ 学童傘には、SGマークがついているものがあります。

このぐらゐの「暮らしのメモ」では、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿の送り先は、〒九三〇 富山県新津曲輪一番七号 富山県知事公室広報課 ぐらゐの暮らしのメモコーナー 係まで

4月16日～5月15日

4月17日

☒県庁屋上に鯉のぼり

5月5日から一週間は児童福祉週間ですが、この日「鯉のぼり」が県庁屋上に掲げられました。

富山市内の保育園児100人と中沖知事が力を合せてロープを引きますと、さわやかな春風に乗って鯉が元氣一杯、泳ぎ始めました。

鯉のぼりの下で、代表の園児が、「元氣な良い子になります。」と誓いの言葉を発表しました。

4月19日

☒立山町でまちなまり、知事と語るつどい

今年3回目のまちなまり、知事と語るつどいが、立山町で行われました。

ひょうたんやエノキダケなどの特産品加工場の視察などの後、町役場を会場に、住民の意見、要望を聴きました。

道路や橋りょうの整備などのほか風土記の丘の充実などの要望が出され、積極的に実現への努力を行う旨



▲まちなまりで、エノキダケ工場を視察

知事らが回答しました。

4月23日

☒富山エフエム放送発足

富山エフエム放送株式会社の創立総会が開かれました。

自主制作番組を含む、音楽を中心としたステレオ放送が、来年4月から始まることなどが決まりました。

県内ほぼ全域と石川県の一部をサービス・エリアとする予定です。

4月24日

☒“日本一”の特別指導者5人

「健康とスポーツ」、「科学と文化」「花と緑」の三つの日本一の県づくりに挑戦する富山県では、それぞれの分野でのトップリーダーとして、5人の特別指導者を決めました。

グリーンプランの推進役として北村文雄信州大学教授、競技スポーツ指導者養成などに松井秀治愛知県立大学教授、学校教育調査研究の推進に真仁田昭筑波大学教授、障害児教育の指導に柚木馥岐早大学教授、教育カウンセリングの指導・助言に森

住宜司前筑波大学技官の5名です。森住氏は、すでに県教育総合センターで常勤の専門研究員として指導にあたっています。

4月25日



◀獅子舞大競演会

☒「いきいき富山」パートⅡスタート

「いい人・いい味・いきいき富山」観光キャンペーンが、今年も始まりました。9月24日までの5カ月間にわたり、賑やかに繰り広げられます。(詳しくは、本誌5月号をご覧ください。)

4月26日

☒県青年の翼派遣

第14回県青年海外派遣、一般部門の一行83人が、オーストラリア・マレーシアの二カ国訪問に出発しました。県庁大ホールで行われた出発式で、中沖知事から藤井団長に団旗が渡されました。団員代表の平田英子さんが、「言葉や習慣の違いを超え二カ国の青年たちと積極的交流を行って、連帯と友情を深めます。」と決意を述べました。

なお、団員は5月9日2週間にわたる日程を終え、無事帰国しました。

4月27日

☒エスエス製薬新港工業用地に進出

東京に本社をもつ医薬品メーカーの大手エスエス製薬が、富山新港工業用地D2地区に工場を建設することになり、用地売買契約の調印が行われました。県庁特別室に、エスエス製薬の泰道社長、中沖知事ら関係者が列席、契約書を交わしました。工場公園の将来構想も計画されており、地元の期待は大きいものがあります。



▲用地売買契約書、交換

5月2日

☒県政バス・スタート

県民の皆さんにより深く県行政を理解していただくこと、今年も県政バス教室が始まりました。この日、富山・高岡・魚津・砺波4地区から合わせて182名が乗車し、熱心に各施



設を見学しました。

5月9日

☒友好県省締結

中国遼寧省と富山県の友好県省締結が調印されました。(詳しくは、本文6ページをご覧ください。)

5月10日

☒春の叙勲伝達

自治、消防、厚生関係の春の叙勲の伝達式が行われました。

長年にわたり地方自治、消防防災、医療、福祉に貢献された方々20名に知事から勲記、勲章が伝達されました。

☒技能五輪選手団壮行会

5月18日から4日間、東京を主要会場として開かれる第22回技能五輪全国大会に出場する富山県選手団を激励する壮行会が行われました。

施盤の田中勇治さん、機械製図の中川一明さんなど5名で、いずれも20歳前後の富山県技術の将来を担う若者たちです。

富山県は今まで優秀な成績をおさめており、今回の出場者にも大きな期待がよせられています。

5月11日

☒ひろがる緑化の輪・植樹祭

第35回県植樹祭が、黒部市嘉例沢森林公園で行われました。緑化事業などに貢献のあった19名



▲叙勲伝達式で

5月14日

☒文化性導入を

文化的環境づくり委員会が開かれました。道路や公共施設に「文化性」を取り入れて、うるおいとやすらぎのあるまちづくりや、豊かな情操環境を作ろうというものです。

今年は、県リハビリテーション病院のメインアプローチの修景など、13事業を推進することになりました。



▲ほくたちのこの手で生み出す緑の世界

“どんどん参加して 富山を知ろう”

110万人の「31番」

クイズ! フォーカス・イン



あなたの町にも、不思議なことや面白いこと、
もっとみんなに知ってもらいたいことがあるはず
です。

あなたの知らないことで、知っていたらもっと
楽しくなることもいっぱいあるはずです。

そんな富山的话题を集めて、“クイズ/フォー
カス・イン” 出場者と問題を募集しています。
出場は二人一組で。

●あて先
〒930-11 富山市根塚町828
富山テレビ放送株式会社
「クイズ/フォーカス・イン」係
葉書でお送りください。

“クイズ/フォーカス・イン”は、
富山県が提供しているあなたの番
組です。

毎週日曜日、朝9時から30分間
楽しさいっぱい、富山テレビで
放送しています。